

科目名 (Subject)	近代経済学説史		
単位数 (Credits)	2 単位	開講時期	前期
担当教員名 (Name)	江頭進 Susumu Egashira	研究室番号 (Office)	409
Office Hours			
<p>1. 授業目的・方法 (Course objective and method) 19 世紀末に勃興した近代経済学は、その後様々な経歴を経ながら、現代の経済学の姿となった。しかし、その過程で多くの重要な要素が抜け落ちてきた。本年度の授業では、近代経済学の歴史を、進化論および進化経済学の視点から再考することを目的とする。特に 19 世紀の方法論争では何が問題とされたか、さらにハイエクが提示した知識の問題が、近代経済学の中にどのように取り込まれたのか、といった具体的なテーマを参加者全員で検討する。</p> <p>2. 授業内容 (Course contents) 第 1 回～7 回 進化経済学および社会科学における進化論の文献の講読 第 8 回～10 回 近代経済学史の概観 第 11 回～15 回 近代経済学における進化経済学の位置づけの検討</p> <p>3. 使用教材 (Teaching materials) 西部忠・吉田雅明編『進化経済学』、日本経済評論社。 進化経済学会編『進化経済学ハンドブック』、共立出版。 Hodgson, G. Conceptualization Capitalism, Cambridge University Press, 2015.</p> <p>4. 成績評価の方法 (Grading) 参加者は毎回、テキストの担当部分の報告を行うが、その際に単にテキストのまとめをおこなうのではなく、他の参考文献なども参照しながら、参加者全員に納得される報告を行わなければならない。成績評価は、何回か行われる報告の完成度の評価に基づいて行われる。</p> <p>5. 成績評価の基準 (Grading Criteria) 経済学科の基準に従う。</p> <p>6. 履修上の注意事項 (Remarks)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学部レベルの経済学史あるいは経済思想史を履修していること。 ・Intermediate レベルのミクロ・マクロ経済学を習得していることが望ましい。 			